



ピラミードたより

テーマ「水」
発達領域：世界の探索

① これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

水槽を使って浮くもの、浮かないものを調べました。保育室にある玩具で子どもたちがそれぞれ浮くと思うものと、浮かないと思うものを1つずつ持って来て水槽の中に入れてみました。「ラキューは」ういてないなあ」「やっぱりプチプチはういたで」と自分が持って来たものが浮くと嬉しそうに見せてくれ、浮かないと「なんでうかないんやろう?」「おもたいからちゃう?」と子どもたちなりに浮かないのはなぜかを話し合っていました。



③ 視野を広める(どうしてそうなるの)

汚れのついたフェイスタオルを使って洗濯ごっこをしました。タオルをどうやってきれいにするかを考えると「水で洗ったらいいねん」と水で洗ってみましたがなかなか泥が落ちず「汚れ取れてないなあ」「石鹸も使ったら?」というお友だちがいて石鹸を使うと泥汚れがきれいになり「やったー!きれいになった」「石鹸と水できれいになるねんなあ」と嬉しそうにきれいになったタオルを干していました。



② 具体的に体験させる(見てみよう!)

保育園にあるいろいろな水を見ていきました。きれいな水(水道水)や金魚の水槽の水、花瓶の水、泥水などを透明なカップに入れ実際に見て、「泥水は泥んこの時に使ってるな」「花瓶の水はきれいに見えるけど匂いがきれいな水とは違う」「金魚の水はいっぱいよごれがういてるなあ」と、それぞれの水をどんな時に使うかや色やにおいなどの違いを感じてみんなで話していました。



④ 視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

下水道科学館に行き、水について調べました。体験のコーナーでは、水を使って遊んだり、雨の降る量の違いを実際に触って体感し「水ってすごいな」と驚いていました。また、水のシアターでは水がどこから来てどこに行くのかや下水道について触れました。「水を大切にしないとあかん」「いつも使ってる水もきれいになってまた帰ってくるんやなあ」と話していました。

